

令和 6 年度
社会福祉法人 南星福祉会・やまがわ保育園 事業報告書

法人の事業報告

【理事会】（総員数：理事 6 名、監事 2 名）

第 1 回（令和 6 年 6 月 2 日（土） 1 4 時）

出席者：理事 5 名、監事 2 名、事務局 2 名

議事及び議決事項

- ・第 1 号議案 令和 5 年度 事業報告について
- ・第 2 号議案 令和 5 年度 計算書類（決算書類及び財産目録）について
（監事監査報告）
- ・第 3 号議案 令和 6 年度 資金収支予算（第 1 次補正予算）について
- ・第 4 号議案 役員等賠償責任保険契約について
- ・第 5 号議案 令和 6 年度 定時評議員会の招集について

報告事項

- ・理事長職務執行状況報告

第 2 回（令和 6 年 9 月 2 2 日（日） 1 4 時）

出席者：理事 5 名、監事 2 名、事務局 2 名

議事及び議決事項

- ・第 1 号議案 令和 6 年度 資金収支予算（第 2 次補正予算）について
- ・第 2 号議案 経理規程の変更について

報告事項

- ・理事長職務執行状況報告
- ・令和 6 年度 沖縄県指導監査の状況報告

第 3 回（令和 6 年 1 2 月 2 2 日（日） 1 4 時）

出席者：理事 5 名、監事 2 名、事務局 2 名

議事及び議決事項

- ・第 1 号議案 令和 6 年度資金収支予算（第 3 次補正予算）について

報告事項

- ・理事長職務執行状況報告
- ・令和 6 年度 沖縄県指導監査の指摘事項に対する是正報告

第 4 回（令和 7 年 3 月 2 3 日（日） 1 4 時）

出席者：理事 6 名、監事 2 名、事務局 2 名

議事及び議決事項

- ・第 1 号議案 令和 6 年度 資金収支予算（第 4 次補正予算）について

- ・第2号議案 役員等賠償責任保険契約について
- ・第3号議案 就業規則の変更について
- ・第4号議案 令和7年度 事業計画について
- ・第5号議案 令和7年度 資金収支予算について

報告事項

- ・理事長職務執行状況報告
- ・やまがわ保育園職員及び保護者アンケート調査結果報告（園長）

その他

- ・次期役員（理事・監事）及び評議員について
- ・今後の日程について

【監事監査】

監事監査（令和6年5月19日（土）14時）

監事2名、理事長、園長、副園長、事務長、
オブザーバー仲里好功氏（東盛税理士事務所）

【評議委員会】（総員数：評議員7名）

定時評議員会（令和6年6月23日（日）14時）

出席者：評議員7名、監事2名、理事長、園長、副園長、事務長

議事及び議決事項

- ・第1号議案 令和5年度事業報告及び決算書類・財産目録の承認について
（監事監査報告）
- ・第2号議案 社会福祉法人 南星福祉会 定款の変更について

報告事項

- ・令和6年度 事業計画及び資金収支予算書について（報告）
- ・役員等賠償責任保険契約加入について（報告）

【総括】

令和6年度は0歳希望要求園児15人に対し、職員を5人配置したが7人の措置児童でスタート。0歳児の職員配置に関して、2人の職員が余り（園児3人：職員1人）、ゆとりのある保育となったが、徐々に0歳児の園児が増え、9月には希望要求園児数を満たす事ができた。年ごとに当園が希望要求する園児数と措置児童数が異なってしまう場合が多々ある。職員は希望するクラスに配置するも、措置される園児数が大幅に増減すると、年度開始にも関わらず、クラス配置変更も余儀なくされ、措置状況を説明し、理解を求めた。

さて、当園は開園から8年経ち、園児の利用定員が60人から107人に増え、開園から勤務する職員が11人もおり頑張っている。各年齢のニーズも1・2・3歳児の園児が増え、職員の数も増えてきた。園児が増えるごとに職員不足が大きな壁となり、職員採用の面接時に当園の特徴を説明し、働き安い職場環境など他園にはない魅力も発信している。また職務会では、保育の環境や子どもへの養護の仕方、さらに保護者との関わり方など、様々なことを職員皆で協議し、今日に至っている。ちなみに、令和6年度は職員を新しく5人を採用できた。

保育内容については、普段の保育や行事ごとに保護者からのご意見や感想を頂いているが、その中でも園への苦情や子育ての悩みが、私たちへの省察や改善となっている。特に昨年度から導入した「にこにこタイム」は主体的な保育として位置づけし、さらに研鑽していく予定である。補足となるが「新しい時代に沿った、寄り添う保育」や「子ども主体で遊ぶ・学ぶ」の2大テーマの研修を全員で学習した結果、子どもの人権擁護や不的切な保育とは何かを意識した保育に繋がったと思う。

一方、毎月の誕生日会においては、今年度から保護者参加型のイベントに変更し、保護者から大好評を得たが、誕生日会が終わり、（保護者は仕事に向かうために）保護者と離れる時の子ども達の泣き叫び声は、職員にとって大きな苦痛となり、今後の課題となった。

さらに新行事として、年度末に行われた保護者クラス懇親会も一年間の総括として家庭的な雰囲気でおやつ・お茶・コーヒーを用意して多くの保護者が参加して頂けた。保護者へ普段の保育を伝えるために、プロジェクター（大スクリーン）を用いて、子ども達の一年間の成長を映像化し、ドキュメンタリー的に報告を行った。また他のクラスでは絵本を通して報告する場面もあり、各クラスで創意工夫を凝らした。保育報告後には、保護者から子育てについて悩んで

いるという報告もあり、他の保護者でも同様の悩みがあるとのことで、保護者間で横の繋がりができ、少し安心した様子も見受けられた。

このように、クラスごとの組織としてのチームワークも安定し、それぞれ皆が努力した成果が、クラスの個性として表れた一年であった。

結びに、令和6年度保護者からのアンケート及び、職員からの園評価のアンケートを行ったので、次年度に向けた運営課題として一つひとつ考えていき、試行錯誤しながら課題に取り組んでいきたいと思います。

【各クラスの振り返り】

0歳児（ほし組 15人）

4月7名の園児でスタート。ゆったり一人ひとりに関わる事ができた。（午前の保育中（慣れ保育）は、保育士担任が他クラスへ回る）

5月→1名入所	}	最終的に15名になる。
6月→2名入所		
8月→4名入所		
9月→1名入所		

子ども達の月齢の差もあり、戸外、室内に分けて養護を中心に保育する時期もありましたが、天気の良い日は戸外保育を多く取り入れるようにしました。

担任によっては業務得意・不得意があり、ピアノ、iPad（連絡帳）などが苦手な職員は、職員間で声をかけあって、対応可能な職員で補い、フォローしながら保育を進めていくようにした。1年を通して助け合っていたと思います。子ども達もそうですが、保護者ともいろいろな会話ができて、良く笑う事が多かったと思います。大きな怪我もなく、元気に過ごせた事に感謝です。

1歳児（つき組 18人）

・食後のトイレと着替えの時に保育者自身が焦ってしまう事が多かった。もう少し声掛けやゆとりを持って、一人ひとりに関わる事が出来たら良かったと感じました。

・一年間で子ども達ができるようになった事が増えて、成長を感じて嬉しいです。特に下記のことで成長を著しく感じました。

→歩行が安定して走ったり、階段の登り降りが上手になったこと。

→発語が増え、友達や保育者の名前を呼んだり、自分の気持ちを

伝える事ができる様になったこと。

→友達や保育者と言葉のやり取りをしながら関わって遊ぶことがよく見られるようになったこと。

→自分や友達の持ち物が分かり、着替えが上手になったこと。

→スプーンの持ち方が上手になり、苦手な物でも少し食べられるようになったこと。

・大きな怪我なく一年間が終えることができたので良かったです

2歳児（はな組 30人）

・パワフルな子ども達は一年を通してパワフルでした。

・新年度スタート時には、今を求めず、一年後又は、卒園するまでに私たちの声かけが伝わったら「いいよね」と子ども達の姿を見、何が必要なのか、求めているのを話し合いし、繰り返し伝える事は大事！！といい続けた（職員間）。

・一人あそびから、友達の名前を呼び誘い合って遊び、衝突することもあったが、しばらくすると、ケロッとし一緒に遊ぶ子ども達の仲の良さを感じた。後半では子ども同士の関係性が、保護者の目にどう映っているのか、難しさも感じた。

・生活面、特に排泄面は1歳児から個々に合わせて行っていた事もあり、2歳児で思ったよりスムーズに感じたので1歳児から無理のないよう一人ひとりに合わせて始めるのは子どもにとっても良いと思う。

・「静」より「動」の子ども達の元気のいいノリは、行事に向けても、その子らしさ（無理強いしない）が見られと思う（取り組む時の姿）。

3歳児（にじ組 30人）

・4月に30人でスタートとしたにじ組さん！

女の子が多く、いつもおしゃべりが多く、明るいクラスでした。

・自閉症の女子もクラスの一員として、毎日が試行錯誤の日々でした。外遊びを多く取り入れ、身体を動かす事を子ども達と一緒に楽しみました。身体を動かすことで日々の食事も良く食べてくれるようになり、午睡も安定してくれるようになりました。

・大きな行事である「うんどう会」・「おゆうぎ会」では、子ども達と相談しながら行事をこなせることができ、行事を終えることで、子ども達の成長も感じる事ができました。

・年度の途中、2人の友達が退園することで、9月には新しい友達が仲間に入り、「さて～どうしようか」？という不安の中で、担任間で話し合いをしながら関わりました。

・3歳児は爆発の時期とも言われ、関わり方が難しく、一人ひとりとどうやって関わると良いのか？保護者の方とも共有しながら、保育をしていく事になりました。

・1月からペアの担任の方が体調を崩して長期休暇することになりましたが、フリーの保育士が入ることで、無事修了を迎えられたと思います。ありがとうございました。

・30人中22人が進級し、8人の友だちが幼稚園等へ行くことになり、子供たちも寂しがっていましたが、それぞれの場所で元気に輝いてほしいと思います。

・一年間、大きなケガや病気もなく子ども達と共に楽しく過ごせたことに感謝です。

4歳児（たいよう組 21人）

・にじ組からたいよう組へ進級した当初は、以前からの顔見知りのせいで、緊張感に欠けて、言葉掛けが無ければ、自分で考えての行動が難しく、座れない・静かになれない等、自由な子ども達であった。

・しかし、日々の関わりから、自分の事は自分で考えて行動するなどの事が身につき落ち着いて生活ができる様になり、ほっとしました。

・自主性の尊重を目指しつつも、その確立は難しかったが、子どもたちなりに、自分の力で行動できるようになり、それぞれの進級先へと巣立つことができ、嬉しさと感謝で一杯です。これもひとえに園長先生はじめ職員皆さんの協力があったものだと思っています。ありがとうございました。

1. 利用状況

年 齢	職員数	対象月(園児数)												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
0歳児	3	7	8	10	10	14	15	15	15	15	15	15	15	154
1歳児	6	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳児	4	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
3歳児	3	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
4歳児	2	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
合 計	18	106	107	109	109	113	114	114	114	114	114	114	114	1,342

2. 職員体制

職 名	人 数
園長	1
副園長	1
事務長	1
主任保育士	1
保育士	17
保育士 (パート)	4
子育て支援員	3
調理員	3
事務兼用務員	1
保育補助	1
産休・育休	2
合 計	35

3. 保育を提供する日等

開園日	月曜日～土曜日
開園時間	午前 7 時～午後 6 時まで
延長保育	保育標準時間及び保育短時間認定に従う。 (4を参照)
休園日	日曜日、祝祭日、慰霊の日、 12月29日～1月3日
その他	毎月第1火曜日は避難訓練 毎月第3木曜日は弁当会 毎月第4金曜日はお誕生日会 毎月第4土曜日は園内研修 毎月土曜日は家庭保育協力依頼 (職員の週休取得) 第2木曜日はベギー先生によるリトミックを行う 第2・第4金曜日は体育教室 (外部講師) 月3回水曜日は英語で遊ぼうの教室 (外部講師) 月3回、月曜日は水泳教室 (保護者の個人契約)。職員は安全保育のため、バスの送迎と着替えを手伝う。

4. 保育を提供する時間

	保 育 時 間		延 長 保 育	
保育標準時間認定	7～18時	(11時間)	18～19時	(1時間)
保育短時間認定	A：8～16時	(8時間)	朝：7～8時	(1時間)
			夕：16～19時	(3時間)
	B：9～17時	(8時間)	朝：7～9時	(2時間)
			夕：17～19時	(2時間)

延長保育利用

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	62	48	57	62	53	51	55	61	67	56	52	51	675
利用日数	22	22	20	22	18	19	22	20	20	19	18	17	239

5. 年間保育指導

【0歳児】

- ・ 保育者との愛着関係の形成過程を大切に受止め、それぞれの思いに添った援助を行う。
- ・ 一人ひとりに応じた授乳を進め、健やかな発育、発達的基础作りをする。
- ・ 受容的で身近な大人との関わりの中で、何かを伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育てる。
- ・ 個別の対応を心掛けスキンシップを十分にとりながら、心身ともに快適な環境を作り情緒の安定を図る。

【1歳児】

- ・ 自我の芽生え、自己主張を認めそれぞれの思いに添った援助をする。
- ・ 手掴み食べを見守り自分で食べようとする気持ちを育み食べる楽しさを共有する。

【2歳児】

- ・ 食事、衣服、着脱、排泄等簡単な身の周りの活動を自分でしようとする芽生えを受けとめる。
- ・ 日々の生活の中で探索意欲を高め、興味、関心を広げる。
- ・ 表現の芽生えを大切に受け止め、仲間と共に遊ぶ喜びを共感する。

【3歳児】

- ・ 基本的な生活習慣を意欲的に行うようにする。
- ・ 仲間と共に育ち会う関係を保育者、保護者が共に援助をする。
- ・ 遊びの保証を心掛け、感動する経験を広げ「ヤッター」という達成感を共感する。

【4歳児】

- ・ 健康・安全など生活に必要な基本的な生活習慣が身につくようにする。
- ・ 安全な環境の中で快適に過ごし、多様な経験を通して徐々に自己肯定を育む。
- ・ 身近な自然や社会に触れる中で共有・共感し合い、生活に必要な言葉や習慣を身に付ける。
- ・ 約束や決まりがわかり、少しずつ自分の気持ちをコントロールできるようになる。

6. 主な実績報告

4月1日	・ 入園式、0歳児（7人）・1歳児（10人）3歳児（8人）の合計25人の新入園児を迎える。 ・ 電気点検（電気保安協会）
4月2日	・ 約2週間、翁長麗子さん交通安全指導のボランティア
4月8日	・ 月3回のスイミン教室（NB）がスタート。 バスで送迎・職員が付き添う（4歳児のみ）
4月10日	・ 月2回の英語教室（専門講師）スタート（3・4歳児）
4月11日	・ 令和4年の卒園生・新一年生の報告に保護者と共に8人来園。 皆でお祝いする。
4月12日	・ 町主催「鯉のぼり掲揚式」へ子ども制作の鯉のぼりを社協へ届ける。

	こどもの日に向けて数日間、ちむぐくる館で掲揚される。
4月16日	・4歳児と副園長とひまわりの種を播く。
4月19日	・月2回の体育教室（専門講師）スタート。（3・4歳児）
4月17日	・月1回、4月に誕生日がある園児に対して、その保護者が参加し、お誕生日会を行う。 （毎月、該当月の誕生日会にてその保護者も参加し、誕生日を祝う）
4月24日	・前期検尿
4月23日	・当園の鯉のぼり掲揚式を開催
4月25日	・月1回のリトミック遊び（専門講師）スタート。 （1月、2月、3月は乳児も対象）
5月17日	・第1回チビッコクリーン（社会福祉教育活動）
5月28日	・にこにこタイム（毎月1回、主体的な遊びと異年齢交流を行う）
6月4日	・虫歯予防集会
6月5日	・ダムウェーター定期検査
6月11日	・第1回 歯科健診
6月19日	・消防設備定期点検
6月25日	・平和集会
6月22日	・外部講師による園内研修・・・睡眠講座（職員と保護者対象）
6月27日	・第1回 内科検診
7月5日	・七夕集会（笹の葉は市販を使用）
7月9日	・にこにこタイムで水遊び開き
7月11日	・各クラス保育参加と給食試食会
8月6日 ～8月11日	・下記の日程にて、保護者の保育参加と給食試食会を行う。 ・8月6日：ほし組（0歳児） ・8月8日：にじ組（3歳児） ・8月9日：はな組（2歳児） ・8月15日：つき組（2歳児） ・8月21日：たいよう組（4歳児）
8月24日	・山川地区納涼祭に参加・・・年長クラスを中心に山川出身の園児が参加。（地域活動）
8月24日	・貯水槽清掃・消毒作業、害虫駆除
8月20日	・交通安全指導（与那原警察署より）
8月27日	・8月にこにこタイムは夏祭りを楽しむ。
8月30日	・沖縄県による社会福祉法人及び私立保育所指導監査
9月18日	・敬老の日間近に、神里区のゆうなの会と交流会を行う。

9月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会第1回目リハーサル。 ・10月4日、2回目リハーサル／翔南小学校 ・10月15日、3回目リハーサル
9月30日	・ダムウェーター定期検査
10月9日	・ゴーヤ収穫（4歳児）
9月3日	・とうがん、ニラ、ネギ等、職員に配布
10月11日	・後期検尿
10月23日	・ゴーヤ収穫（3歳児）
10月26日	・うんどう会 理事、評議員、祖父母 保護者の参加のもとで行う。
10月25日	・給食定期栄養報告・・・保健所から報告書が届く。
10月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィン。山川地区を仮装して散歩。 仮装訪問のことを事前連絡済みの家へお菓子を貰いにいく。
11月18日 ～3月28日	・園児の祖母である渡久地さん（よっこさん）、毎朝、絵本の読み聞かせのボランティア活動を行う。
11月19日	・じゃが芋植え付け体験
11月21日	・勤労感謝日が近いとため、外部講師やゴミ回収作業員、消防士に手作りのプレゼントを贈る。
11月29日	・おゆうぎ会リハーサル
12月14日	・ひまわりの種を播く。（職員園庭委員会）
12月2日	・令和6年度社会福祉法人保育園、幼保連携型子ども園等の指導監査結果が届く。
12月4日	・歯科健診
12月5日	・トルコききょうの苗、すっぱん寄贈・・・字本部の大城広正さん
12月6日	・うさぎ2匹寄贈・・・山川の知念さんより
12月8日	・監査結果指摘事項及び是正改善、状況報告書を県へ送付。
12月21日	・おゆうぎ会
12月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス・誕生日会催す。 ・保護者手作りの大きな靴下（靴下型をした収納袋）にクリスマスプレゼントを準備する。
1月8日	・コスモスの種を播く。（職員園庭委員会）
1月6日 ～1月23日	・園出入口湧水対策工事、完了する。（丸秀電気工業）
1月7日	・新年の集い集会・・・巳年の由来を知り、子ども達や職員の今年の抱負を話合う。
1月10日	・新春マラソン大会をスカイパークで行う。

1月14日	・ムーチの葉っぱの準備・・・採取したサンニンの葉を洗う。
1月15日	・劇団ばく観劇・(手袋かいに)・・・園児・保護者対象
1月17日	・ヒヤシンス球根の水栽培をする(年長児→みどりの募金)
1月21日	・チビッ子クリーン(社会福祉教育活動)
1月22日	・ムーチ作り
1月25日	・外部講師による園内研修・・・ゆいまわる (一人ひとりに寄り添う保育、感覚の視点から考える。)
1月28日	・記念撮影
1月30日	・内科検診
2月4日	・節分
2月10日 ～2月25日	・沖縄女子短期大学実習生受け入れ。(1名)
2月6日 ～2月14日	・以下に日程にて、クラスごとの保護者懇親会を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・2月6日：つき組 ・2月7日：ほし組 ・2月10日：にじ組 ・2月13日：たいよう組 ・2月14日：はな組
2月8日	・知念ひさとのお父さんより花の苗を寄贈
2月22日	・新入園児個人面接(18人)
2月25日 ～3月13日	・2階舞台横倉庫の床設置新築工事開始～完了する。
3月3日	・ひなまつり会
3月9日	・知念ひさとのお父さんより花の苗を寄贈
3月14日	・おわかれ遠足・・・異年齢で手を繋ぎ山川区を散歩し、山川体育センターでゲームをし、お弁当、お菓子を食べる。
3月17日	・ピアノ調律
3月22日	・卒園式(卒園児保護者・在園児にじ組参加)
3月25日	・修了式
3月26日	・大道芸 コトラさんと遊ぼう
3月27日	・じゃが芋収穫(たいよう組) 子どもたちによって、収穫したじゃが芋を職員に直接配布する。 お世話になった近隣の方々にも配布する。子どもたちはお土産としてじゃが芋を持ち帰る。
3月30日	・うさぎさん5匹出産

7. 施設設備等

- ・園出入口湧水対策
- ・2階舞台横倉庫の床設置
(地下：書庫置き場、1階：舞台使用道具等入れ、
2階：小物等のロフト形式倉庫)。

8. 給食に対する取り組み

【目標】

- ① 食と健康：空腹を感じ、リズムある生活を送る。
- ② 食と文化：沖縄の行事食に興味を持たす。
- ③ 食と料理：身近な食材を使って調理を楽しむ。
- ④ 命の育ちと食：自然の恵みと働く事の大切さを知り、感謝の気持ちを持って食事を味わう。
- ⑤ 食と人間関係：身近な人と一緒に楽しく食べる。

アレルギー対象児4名

2才児（2名）、3歳児（1名）、4歳児（1名）で食品アレルギー園児を保育する（卵・牛乳・ナッツ類・ゴマ）。医師による診断書や指導などを参考に園長、職員、調理員と会議で共通理解を深める。除去食、代替食にて対応し、食器、ネームプレート、テーブルなど専用を準備し、注意深く食事を提供する。

給食会議

園長、調理員、主任、職員などを含めて適宜、必要に応じて会議を持つ。議題は行事前の給食、お土産(敬老会、運動会、おゆうぎ会)、行事食（ムーチ）等。

南部保健所健康推進班よりの報告・・・ほとんどすべての栄養素が栄養目標量を満たし、バランスのある様々な食事が継続的に提供されていると、報告がありました。

検便状況（受診者数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

9. その他衛生管理

- ・感染症予防を継続するため、子ども達の手拭きは使い捨てペーパーにする。
- ・室内で使用する玩具は、1日1回の消毒とする。
- ・毎日、建物・設備の点検を行う。
- ・園舎内外の害虫駆除を行う（UIビルメンテナンス社、理事長）。

10. 避難訓練実績

4月10日	5月8日	6月12日	7月10日	8月17日	9月20日
火災時避難訓練、消火訓練	火災時避難訓練、消火訓練	地震・津波訓練、火災時消火訓練	火災時消火訓練	火災時避難訓練、消火訓練	地震・火災時消火訓練、総合避難訓練、消防との合同訓練
10月28日	11月13日	12月11日	1月8日	2月12日	3月7日
津波避難訓練、火災時避難訓練	火災時避難訓練・消火訓練、不審者侵入避難訓練	地震・津波訓練、火災時消火訓練	火災時避難訓練	地震・津波訓練、火災時消火訓練、避難訓練	火災時避難訓練

11. 園児への保険加入

園児の不慮の事故・災害に備えて、以下の保険に加入する。

保険の種類	保険会社等
災害共済	独立行政法人 日本スポーツ振興センター
保育総合保険（F）	社会福祉法人 日本保育協会

12. 園児交通安全指導

- ・園外保育では、必ず保育士2人以上で行動する。
- ・園外に出発するときは、写真を撮り、子ども達の人数の確認と服の確認をする。
- ・信号の有無、車両の往来が激しい場所、道路状況が悪い所などあらかじめ危険個所を確認する。
- ・散歩計画書を作成する。さらに前もって園外保育計画書を作成する。
- ・職員は、黄色い目立つ色の園用パーカーを着用する。
- ・横断歩道旗を持参し、運転手にアピールする。
- ・園用の携帯電話を持参する。

13. 園児の健康管理

定期的健康管理 各嘱託医と相談しながら、子ども達の健康を管理しました。

- ・内科健診・・・6月27日 1月30日
- ・歯科検診・・・6月11日 6月12日 12月3日 12月4日
- ・検尿検査・・・5月12日 10月20日

- ・身長・体重測定・・・毎月の第4木曜日
- ・感染症に関する事
インフルエンザ、結膜炎、下痢・嘔吐医並びに町保健師に相談する。
- ・乳児の睡眠チェック・・・0歳児は5分毎にチェック。
1歳児は10分毎にチェック。
- ・朝の視診と検温、保育中の視診と検温 午睡後の視診と検温

感染症

病 名	人数
新型コロナウイルス	4
インフルエンザ	52
手足口病	22
結膜炎	4
RS ウイルス感染症	6
溶連菌	10
マイコプラズマ肺炎	6
突発性発疹	2
ウイルス性胃腸炎	7
ヒトメタ ウイルス	3

内科検診結果

診 断	人 数
肥満傾向	5
多動傾向	1
言葉の遅れ	3
低身長経過観察	4
食物アレルギー（治療中）	4
アトピー湿疹治療中	3
支援児保育	2
喘息	3
血管腫（治療中）	1
ASP	1

14. 発達支援

① 子ども課事業→障がい児巡回訪問（保護者からの申請が必要）

- ・発達支援児保育（職員加配2人）→対象園児4人

町事業

主な事業	巡回指導	運営委員会	交流会	講演会	中間報告	研究発表会
回 数	3	5	3	2	1	1

講師・・・言語聴覚士・社会福祉士、前田智子先生・小浜ゆかり先生

② 保健福祉課事業（公認心理士：外間和歌子）

- ・まちの OT による訪問することで、困っていること・気になることへの理解のための勉強会を実施。

※ OT：Occupation Therapy（作業療法）

→対象園児 3歳児（3人）

4歳児（2人）

共有チーム→園長、クラス担任、子どもセンターゆいまわる職員（作業療法士）、保護者

方法→行動観察とフィードバック・・・保育園全体研修→共有

15. 広報活動

- ・毎月の園だより、給食だより、保健だより、献立表・離乳食（前期・後期）だより、全国保健ニュース・クラス便りをアプリで配信。
- 広報誌の一部は、紙媒体としても印刷し玄関に設置。（必要な方が自

由に持ち帰り可能)

- ・本園ホームページにて園の概要、緊急のお知らせ、新着情報、運営情報を公表。
- ・感染症について情報共有。
- ・職員求人に関して、インターネットによるハローワーク求人を中心に募集の掲載。
- ・緊急時、通常時においても、保護者・職員へアプリで一斉連絡配信
- ・保護者との連絡手段の1つとして、「おたより帳」アプリで実施。
- ・日々保育の様子を写真でアプリ配信
- ・卒園式に合わせて、卒園児の写真（0歳～4歳までの様子）をアプリで配信。
- ・独立行政法人 福祉医療機構が運営する下記システムに書類提出。
 - ・「事業報告書等電子報告システム」に事業報告を提出
 - ・「財務諸表等電子開示システム」に令和6年度計算書類（決算書類及び財産目録）を提出
 - ・「子ども・子育て支援情報公表システム」に本園の保育に係る情報を提供。

16. 福利厚生に関して

- ・健康診断
個人又は事務長に報告し日程調整をして受診、基礎項目は園負担、1日特別休暇とする。（オプション検査は自己負担）
- ・誕生日休暇
誕生日の月に希望する1日を選び、特別有給休暇とする制度。
職場の仕事から離れて、自分の好きなことを楽しむことで、心身ともにリフレッシュすることを目的とする。
- ・その他
うんどう会、おゆうぎ会・卒園式など大きな行事が終わった後に、慰労会を兼ねて、園内で食事会を設ける。
2階会議室を利用して、職員交代でコーヒタイムなどを行い、職員同士の親睦をはかる。

17. 研修受講報告

■園外研修

開催 年 月 日	場 所	氏 名	研修内容
			①研修名 ②主催 ③内容
5 月 14 日	島尻教育 研究所	青木蘭子	①環境構成 ②南部広域行政 ③基本を踏まえた保育者の役割
5 月 31 日	南部総合 福祉セン ター	青木蘭子	①わくわくする実践 ②島尻教育研究所 ③子どもの困難さ寄り添う
6 月 6 日 ～ 6 月 7 日	県総合 福祉セン ター	大久保遥	①初任保育士研修 ②社会福祉協議会 ③保育従事者の役割
6 月 7 日	レフ沖縄 アリーナ	青木蘭子	②主任研修 ②全国保育推進連盟 ③主任が仕事を楽しむために
7 月 4 日	南風原町 中央公民 館	知名直子 青木蘭子	①児童虐待研修 ②南風原町 ③虐待を発見した時の対応
7 月 6 日	沖縄 キリスト 教学院	長堂紅美 與座かおり	①講演会と対談 ②県キリ学院同窓会 ③愛と知の循環から世界へ旅立ち
7 月 10 日	県産業 支援セン ター	安里奈津樹	①保育士 ②県公衆衛生協会 ③食物アレルギー対応について
7 月 26 日	南風原町 中央公民 館		①園経営を考える ②全国保育推進連盟 ③不適切な保育の実例
8 月 20 日	豊見城 中央公民 館	知名直子	①初任者保育士研修 ②日保協県支部 ③不適切な保育を考える
8 月 21 日	豊見城 中央公民 館	幸地さとみ	①主任保育士研修 ②日保協県支部 ③不適切な保育とマネジメント

8月31日	南風原町 中央公民館	知名直子 松川あさひ 平良淳子 青木蘭子	①町巡回保育事業 ②町子ども課 ③子育てが楽しくなるコツ
9月12日 ～ 9月18日	動画配信	青木蘭子 神里美奈子 宮本綾翔	①キャリアアップ研修 ②県研修係 ③子育て支援・保護者支援
		知名直子	①キャリアアップ研修 ②県研修係 ③障がい児保育
9月12日	翔南幼稚園・南風原町中央公民館	赤嶺優子	①公開保育 ②幼稚園四園研修会 ③公開保育と振り返り
9月30日	南風原町中央公民館	平良淳子	①保育の価値評価に考察する ②全国保育推進連盟 ③新の時代の保育のあり方
11月 ～ 2月	南風原町議室	新垣 緑	①ティチャートレニング ②町子ども課 ③事例をとしての理解と支援7回
12月6日	島尻教育研究所	知名直子	①わくわく実技講座 ②島尻教育研究 ③ストーリーから作りだす縄遊び
12月7日	みちしお保育園	青木蘭子	①県保育技術講習会 ②21世紀子ども研究所 ③新時代における保育の再考
3月14日	東部消防予防課	與座かおり	①火災予防勉強会 ②東部消防予防課 ③濃煙体験と消火器の使い方

■園内研修

開催 年月日	研修名	氏名 または 参加数	研修内容
			①講師 ②主催 ③内容
4月23日	新学期留意すべき点	7人	③新入園児の様子、食物アレルギーについて

5月22日	安全保育	クラス 自主研修者	③消防計画・避難訓練の組織について 確認事項、安全保育
6月22日	子どもの 睡眠講座	16人	①中山美波 ②IPHI 乳幼児睡眠コンサル ③良質な睡眠が子どもの可能性を広げる
6月	にこにこ タイム	クラス 自主研修者	③主体的な保育について、去年のヒヤリハットの振り返り
7月17日	動画配信 自主研修	知名直子	①池間純子氏、澤岬美和氏 ②県保育所総合支援センター ③気になる子の理解と保護者の思い
7月22日		幸地さとみ 宮本綾翔 長堂紅美	
7月24日		神里美奈子	
7月25日		金城京子	
7月26日		與座かおり	
8月7日		新垣緑	
8月9日		青木蘭子	
8月10日		赤嶺優子	
8月11日		仲里緑	
8月12日		稲福晴夏 大久保遥 安里奈津樹	
11月	自主研修 と確認	18人	③人権擁護のためのセルフチェックリスト
1月25日 一年間振り返り	寄り添う 保育	15人	②ゆいまわる ③一人ひとりの個性に寄り添う保育 →感覚の視点から考える
3月25日	一年間振り返り	23人	③各クラスの省察と職員自ら学びに向かう力を育む。保育士評価

■園長・副園長・事務長研修

開催 年月日	場所	氏名	研修内容
			① 研修名 ②主催 ③内容
4月24日～ 4月25日	宮古市未来 創造センタ ー	神里ヨシ子	①園長研修 ②日保協沖縄支部 ③子ども家庭庁政策動向について

6月6日	県総合福祉 センター	神里力	①法人監査セミナー ②県社協 ③組織運営・会計・保育施設整備
12月10日	ハーバービ ューホテル	神里ヨシ子 神里力	①法人役員研修会 ②日保協沖縄県支部 ③保育行政動向・泉とおばーのよんな笑っ ていく
1月18日	県教職員 共済会館	細川妃奈子	①改正育児・介護の勉強会 ②パソナ・マネジメント ③改正育児、最低賃金・処遇改善
2月17日	県総合福祉 センター	細川妃奈子	①退職共済 ②社会福祉事業共済 ③退職手当共済システム概要・変更点
3月4日	南風原町 中央公民館	神里ヨシ子 細川妃奈子	①処遇改善 ②日保協南部支部 ③今後の処遇改善の行方と保育政策の動向
3月13日	ハーバービ ューホテル	神里ヨシ子	①園長研修 ②日保協沖縄支部 ③保護者から選ばれる園の組織マネ ジメント

18. 苦情解決状況

<登園時の園児受入れ対応に関する報告>

令和6年7月10日（水）11:30頃に保護者からのクレームがありました。

朝の受け入れ時に本児に対して在園児？他の名前を出して「〇〇〇（知らない子の名前を言って？）にしか見えない」とよく言われることが不愉快だとの苦情がありました。

自分の子どもを一人の人格としてみてほしいとのことでした。職員は冗談で行っているつもりでも、保護者にとっては大事な我が子です。受入時や対応時には、言動に気をつけて、丁寧に対応するように心がけてくださいとのこと。

（対応）

職員に苦情文章を回覧して共通理解して全体で心がけるように努める。また職務会でも話をして職員間の理解を深める。

<子どもへの対応について>

7月26日（金）直接、職員を名指しで言ってきました。

お迎え時に職員が子どものお尻を叩く行為がすごく気になったそうです。

「気持ちはわかるんですけど」「ちょっとあれは・・・」

と苦笑いされて言われていました。

保護者さんにとっては受け止め方がいろいろだと思いますが、我が子がされているのを見ると悲しい気持ちになると思います。

（対応）

文章を全職員に回覧してもらい共通理解をしてお互いに気を付けていくようにする。名指しされた職員には直接指導をする。

<ヒヤリハット>

	ほし組 (0歳児)	つき組 (1歳児)	はな組 (2歳児)	にじ組 (3歳児)	たいよう組 (4歳児)	合 計
噛 み つ き	1	10	6	0	0	17
アレルギー、誤食、誤飲 (誤飲)	1	0	1	0	0	2
打 撲	0	1	3	1	1	6
転 倒	1	5	6	0	0	12
切 り 傷、擦 り 傷	1	1	3	1	0	6
引 っ 搔 き	0	0	1	0	0	1
そ の 他	0	0	0	0	1 (火傷)	1
合 計	4	17	20	2	2	45